

大学での勉強の仕方

2013.6.24 FI科 中島

高校での勉強

- 高校での目的
 - 一般常識(中学まで)の強化
 - 大学進学
- 勉強スタイル
 - 座学(知識吸収)が中心
 - 受身にならざるを得ない

2

大学(理系)での勉強

- 特定分野の高度な知識吸収
 - 座学+演習
- 最先端の技術や知識に触れる
 - 演習中心
- 最先端の技術を探求する
 - 卒研中心
- 社会に出るための訓練
 - 後述

3

能動的学習

- 「覚える」・「分かる」・「出来る」は違う
 - スポーツ(サッカー)の例
 - 覚える: ルール, チームや選手
 - 分かる: フォーメーション, 組立て, ミス
 - 出来る: 分かっている通りに自分でプレー
 - プログラミングの例
 - 覚える: 文法, 制御構文, データ構造
 - 分かる: プログラムを読んで理解できる
 - 出来る: 自分でプログラミングする

4

能動的学習

- 覚えるためには
 - 授業教材の予習・復習
 - 授業への集中
- 分かるためには
 - 種々バリエーションに触れる
 - 授業, 授業教材だけでは一般的に不足気味
 - 考えて自分なりの解釈を確立
 - 解釈の修正もしばしば必要

5

能動的学習

- 出来るためには
 - 繰り返し練習するしかない
- ただし, **考えながら！！**

6

社会に出るための訓練

- 指示を守る, スケジュールを管理する
 - 締切を管理する(メモと取る)
 - 勉強・宿題の計画を立てる
- 連絡(コミュニケーション)
 - 相手(教員, 友人)に不便や不安を与えないためにはどうしたら良いか, を連絡の根本方針とする
(例)教員からメールで指示や連絡があれば, 取り敢えず, 「了解しました」の返信を! ... 何故?
- 能動的行動+社会的責任(含, マナー)

7

大学生活のプラス・アルファ

- 良き友人を得る
- 世間・世界に目を開く
 - 夏休みなどに「今までと違う」冒険や旅行をしよう

8